

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月 日作成

事業番号	10921	担当課等	観光課							
事務事業名	ゆがわらハロウィン開催事業補助金									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 27 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P34 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① イベントの充実				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	若年層を対象にしたイベントで、町外(県外)からの参加者を募り、誘客に結びつける。								
対象	住民及び観光客								
内容	ハロウィンイベントを開催								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	5,000,000	5,000,000	1,500,000		
	人件費	常勤職員	732,800	742,400	716,500	
		会計年度任用職員等				
		人件費合計	732,800	742,400	716,500	
	総事業費	5,732,800	5,742,400	2,216,500		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	5,732,800	5,742,400	2,216,500		
	財源合計	5,732,800	5,742,400	2,216,500		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
イベント来場者数		地域産業の振興	人	18,000	18,000	

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 観光客誘致事業など観光振興の発展に資するため町で行う必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 イベントには町内外の方が来場され、集客・消費拡大につながっている。 また、参加店の活性化が図られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 観光客の誘客に
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 受益の機会は均等である。

令和元年度までの自己評価または改善点	年々イベントの周知が図られ、事業開始年度から来場者数の増加が続いている。
--------------------	--------------------------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	補助事業のため
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	令和2年度はコロナ禍の為、イベントは中止となった。	
令和3年度以降の方向性	イベント自体の向上を図り、芸能人頼みの誘客から脱却を図る。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(縮小)	集客方法の見直しやコロナ対策を行う必要がある。
------	--------	-------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(縮小)	
------	--------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月 日作成

事業番号	11720	担当課等	観光課						
事務事業名	元気回復事業								
予算科目コード	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	2年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P34 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① イベントの充実				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	花火大会を開催することで、コロナ禍で不安な日々を過ごしている町民に元気を与える								
対象	住民及び観光客								
内容	ハロウィン花火を開催								

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
	事業費			7,235,880	
コスト 人件費	常勤職員		716,500		
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	0	0	716,500	
	総事業費	0	0	7,952,380	
財源内訳	国庫支出金		7,235,880		
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	0	0	716,500	
	財源合計	0	0	7,952,380	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	
令和元年度までの自己評価または改善点		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	
令和2年度の見直し及び改善 (実績または予定)	コロナ対策として、ビューポイントを設置するなど密にならないように実施し、15分間で約6,000発を打上げ、観覧者数は9,000人であった。
令和3年度以降の方向性	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	完了
------	----

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	
------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月 日作成

事業番号	3509	担当課等	観光課							
事務事業名	商店街振興事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	02	目	02	事業開始年度	平成 20 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P41 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	II 地域産業の振興	1 商業・サービス業	(2) 団体活動の活性化と人材育成	① 商工業関連団体間の提携・交流強化				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	地域商工業の活性化を図る。								
対象	町内商工業者								
内容	地域商工業の活性化を図るため、次の事業に助成金を交付する。 ・商店街連合会振興事業…商店街連合会が主催するイベント等。 ・地域商業活性化事業…地域商店街の活性化を目的とした商品券を発行。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	10,489,532	11,347,536	5,580,000		
	人件費	732,800	742,400	716,500		
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	732,800	742,400	716,500		
	総事業費	11,222,332	12,089,936	6,296,500		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	11,222,332	12,089,936	6,296,500		
	財源合計	11,222,332	12,089,936	6,296,500		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
商工会会員数		補助対象	人	818	872	
補助団体数		補助実績	団体	9	9	
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
取扱店舗数		商工業の振興	店	286	282	

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 観光客誘致事業など観光振興の発展に資するほか、技術者の発掘や育成指導など工業振興に資するため町で行う必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 イベントには町内外の方が来場され、集客・消費拡大につながっている。 また、参加店の活性化が図られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 産業、工業の地域振興につながっている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 受益の機会は均等である。

令和元年度までの自己評価または改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商品券発売日を平日と休日の2回に分けて実施</li> <li>・取扱店舗数の拡大</li> </ul>
--------------------	---

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 補助事業のため
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
令和3年度以降の方向性	地域商工業の活性化を図る趣旨から、引き続き助成したい。

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	引き続き、商工業の振興、活性化のため事業を実施していくこと。
------	----------	--------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月 日作成

事業番号	3505	担当課等	観光課							
事務事業名	商工業振興事業補助金									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	02	目	02	事業開始年度	平成 17 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P41 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	II 地域産業の振興	1 商業・サービス業	(2) 団体活動の活性化と人材育成	① 商工業関連団体間の提携・交流強化				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	地域商工業の活性化を図る。								
対象	町内商工業者								
内容	地域商工業の活性化を図るため、次の事業に助成金を交付する。 ・産業祭等事業…地域産業の振興に寄与する産業祭。 ・商業振興事業…商店街連合会と協力し、商店の掘り起こしを図る。 ・工業振興事業…リフォームお助け隊事業等の工業の振興を展開する。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	550,000	900,000	550,000		
	人件費	732,800	742,400	716,500		
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	732,800	742,400	716,500		
	総事業費	1,282,800	1,642,400	1,266,500		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	1,282,800	1,642,400	1,266,500		
	財源合計	1,282,800	1,642,400	1,266,500		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
商工会会員数		補助対象	人	818	872	
補助団体数		補助実績	団体	9	9	
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
産業祭来場者数		地域産業の振興	人	中止	3,000	
リフォームお助け隊相談数		工業の振興	件	27	26	

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 観光客誘致事業など観光振興の発展に資するほか、技術者の発掘や育成指導など工業振興に資するため町で行う必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 産業祭には町内外の方が来場され、集客・消費拡大につながっている。リフォームお助け隊事業は隊員の増強による事業の充実が図られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 産業、工業の地域振興につながっている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 受益の機会は均等である。

令和元年度までの自己評価または改善点	「産業祭」イベントが町民・観光客に対し、認知度が向上
--------------------	----------------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既の実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 補助事業のため
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
令和3年度以降の方向性	地域商工業の活性化を図る趣旨から、引き続き助成したい。

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	引き続き、商工業の振興、活性化のため事業を実施していくこと。
------	----------	--------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------



令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月 日作成

事業番号	3514	担当課等	観光課							
事務事業名	中小企業退職金共済掛金助成事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	02	目	02	事業開始年度	平成 2 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P40 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	II 地域産業の振興	1 商業・サービス業	(1) 商業基盤の整備	① 商工業関連団体間の提携・交流強化				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	町内事業所の雇用の安定及び従業員の労働条件の向上を図る。								
対象	町内商工業者								
内容	退職金共済制度(中小企業退職金共済制度・特定退職金共済制度)に新規加入する事業所に対し、掛け金の一部を助成するもの。(掛金の10%)								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	693,200	571,300	590,400		
	人件費	732,800	742,400	716,500		
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	732,800	742,400	716,500		
	総事業費	1,426,000	1,313,700	1,306,900		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	1,426,000	1,313,700	1,306,900		
	財源合計	1,426,000	1,313,700	1,306,900		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
助成事業所数		中小企業事業所支援	件	33	29	

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	町内事業所の雇用の安定につながっている。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	町内事業所の安定につながっている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	産業、工業の地域振興につながっている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会は均等である。
令和元年度までの自己評価または改善点			

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	補助事業のため
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし	
令和3年度以降の方向性	地域商工業の活性化を図る趣旨から、引き続き助成したい。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	引き続き、商工業の振興、活性化のため事業を実施していくこと。
------	----------	--------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月 日作成

事業番号	3534	担当課等	観光課							
事務事業名	地域振興事業補助金									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	02	目	02	事業開始年度	平成 21 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P41 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	II 地域産業の振興	1 商業・サービス業	(2) 団体活動の活性化と人材育成	① 商工業関連団体間の提携・交流強化				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	商店街が行う事業のうち観光振興に特に寄与する事業に補助するもの。								
対象	地域商店街								
内容	次の事業等に対して補助を行う。 ・温泉場商店会が開催する「灯りの祭典」事業								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	800,000	800,000	900,000		
	人件費	732,800	742,400	716,500		
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	732,800	742,400	716,500		
	総事業費	1,532,800	1,542,400	1,616,500		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	1,532,800	1,542,400	1,616,500		
	財源合計	1,532,800	1,542,400	1,616,500		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
商工会会員数		補助対象	人	818	872	
補助団体数		補助実績	団体	9	9	
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
灯りの祭典来場者数		地域振興	人		3,000	
担々やきそばイベント出店数		地場産業の振興	件	17	17	

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	町内事業所の雇用の安定につながっている。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	町内事業所の安定につながっている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	産業、工業の地域振興につながっている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会は均等である。
令和元年度までの自己評価または改善点			

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	補助事業のため
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし	
令和3年度以降の方向性	地域商工業の活性化を図る趣旨から、引き続き助成したい。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	引き続き、商工業の振興、活性化のため事業を実施していくこと。
------	----------	--------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月 日作成

事業番号	3538	担当課等	観光課							
事務事業名	創業支援事業補助金									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	02	目	02	事業開始年度	平成 28 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P41 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	Ⅲ 勤労者対策の推進	1 雇用対策	(1) 就業の促進	⑤ 若年者、女性等による創業の支援				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	創業セミナーを開催することにより、起業を目指す方を掘り起し、町内における起業を促進し、起業の場として、町内の空き店舗の利用促進を図る。								
対象	起業を目指す方								
内容	商工会と連携し、新たに起業を目指している方を応援するため、税理士・中小企業診断士などを講師に迎え、経営・財務・人材育成・販路開拓など創業に必要な基礎知識について習得するセミナーを開催する(1/2補助)。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
	事業費	100,000	100,000	100,000	
コスト 人件費	常勤職員	732,800	742,400	716,500	
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	732,800	742,400	716,500	
総事業費	832,800	842,400	816,500		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	832,800	842,400	816,500	
財源合計	832,800	842,400	816,500		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
セミナー開催数	基礎知識の提供	回	3	3	

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	地場産業の振興や発展に資するため。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	起業促進へとつながっている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	各種セミナーを実施することにより、起業促進へとつながっている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会は均等である。

令和元年度までの自己評価または改善点	受講者の追跡調査を実施し、効果測定を行う必要性を商工会と検討する。
--------------------	-----------------------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 補助事業のため
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
令和3年度以降の方向性	地域商工業の活性化を図る趣旨から、引き続き助成したい。

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	引き続き、商工業の振興、活性化のため事業を実施していくこと。
------	----------	--------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月 日作成

事業番号	3542	担当課等	観光課							
事務事業名	「made in ゆがわら」認定事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	02	目	02	事業開始年度	平成 28 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P34 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	③ 名物料理・商品の開拓				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
			○						
目的	湯河原町の地域資源を活用し、湯河原ブランドの確立により町のイメージアップと産業振興を図り、町経済の活性化を目指す。								
対象	地域事業者 観光客								
内容	「made in ゆがわら」としてブランド認定するための委員会の運営。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	198,056	437,104	220,000		
	人件費	732,800	742,400	716,500		
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	732,800	742,400	716,500		
	総事業費	930,856	1,179,504	936,500		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	930,856	1,179,504	936,500		
	財源合計	930,856	1,179,504	936,500		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
made in ゆがわら認定品数		産業の振興・活性化	件	-	7	
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 湯河原ブランドの確立により町のイメージアップを図るため必要である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 町内外の方への消費拡大につながる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 湯河原町の産業振興、活性化を目指す。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 受益の機会は均等である。

令和元年度までの自己評価または改善点	「湯河原らしさ」について、観光アドバイザー政所利子先生のアドバイスをいただきながら議論し、7品目を認定。
--------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	2 本来であれば商工会が主体となって行う事業であると考える。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	令和2年度に新たに10品目を認定した。
令和3年度以降の方向性	現在16品目が認定されているが、PRや、販路の確保・拡大などについては商工会が主体となって事業を推進する。

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	「made in ゆがわら」の売り出し方法を商工会と進めること。
------	----------	----------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------



令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月 日作成

事業番号	3556	担当課等	観光課							
事務事業名	駅周辺活性化プロジェクト事業補助金									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	02	目	02	事業開始年度	平成 28 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P41 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	II 地域産業の振興	1 商業・サービス業	(2) 団体活動の活性化と人材育成	① 商工業関連団体間の提携・交流強化				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	地域商工業の活性化を図る。								
対象	町内商工業者								
内容	地域商工業の活性化を図るため、次の事業に助成金を交付する。 駅周辺が一体化となって活性化し、駅周辺の賑わいの創出を図る必要があることから、ぶらんちを開催している駅前通り明店街へ補助金を交付するもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	800,000	700,000	700,000		
	人件費	732,800	742,400	716,500		
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	732,800	742,400	716,500		
	総事業費	1,532,800	1,442,400	1,416,500		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	1,532,800	1,442,400	1,416,500		
	財源合計	1,532,800	1,442,400	1,416,500		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
商工会会員数		補助対象	人	818	872	
補助団体数		補助実績	団体	9	9	
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
ぶらんち来場者数		地域産業の振興	人	10,000	10,000	

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 観光客誘致事業など観光振興の発展に資するため町で行う必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 イベントには町内外の方が来場され、集客・消費拡大につながっている。 また、参加店の活性化が図られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 産業、工業の地域振興につながっている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 受益の機会は均等である。

令和元年度までの自己評価または改善点	「ぶらん市」の町民や観光客への認知度が向上、SNSによる情報発信
--------------------	----------------------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既の実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	補助事業のため
令和2年度の見直し及び改善 (実績または予定)	平成30年度から駅周辺の活性化を図るため、梅の宴の入園券をお持ちのお客様に対し駅周辺の商店街で飲食や買い物をした際、200円のキャッシュバックをする事業を実施している。	
令和3年度以降の方向性	地域商工業の活性化を図る趣旨から、引継ぎ助成したい。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	ランチ以外の駅周辺活性化を検討すること。
------	----------	----------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月 日作成

事業番号	11507	担当課等	観光課							
事務事業名	暮らしの応援クーポン発行事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	02	目	02	事業開始年度	2年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P41 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	II 地域産業の振興	1 商業・サービス業	(2) 団体活動の活性化と人材育成	① 商工業関連団体間の提携・交流強化				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	生活支援及び経済対策として地域商品券を全町民に配布する								
対象	町民								
内容	第1弾として地域商品券3,000円分を6月に配付 第2弾として地域商品券5,000円分を9月～10月に配付								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費			209,000,000		
	人件費			2,149,500		
	会計年度任用職員等			884,490		
	人件費合計	0	0	3,033,990		
	総事業費	0	0	212,033,990		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	0	0	212,033,990		
	財源合計	0	0	212,033,990		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	
令和元年度までの自己評価または改善点		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	
令和2年度の見直し及び改善 (実績または予定)	暮らしの応援クーポン第1弾では、換金率が95.21%であった	
令和3年度以降の方向性	新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、引き続き、生活支援及び経済支援を行っていく	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	完了	国庫補助等の機会を見て実施すること。
------	----	--------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価		
------	--	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月 日作成

事業番号	11635	担当課等	観光課								
事務事業名	新型コロナウイルス感染症感染予防対策助成事業										
予算科目コード	会計	01	款	06	項	02	目	02	事業開始年度	2	年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P41 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	II 地域産業の振興	1 商業・サービス業	(2) 団体活動の活性化と人材育成	① 商工業関連団体間の提携・交流強化				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	新型コロナウイルス感染症感染予防対策を施し、事業継続を図る中小企業、個人事業主を支援する								
対象	町内商工業者								
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1事業者 上限20,000円(助成率…10/10)</li> <li>・町内に複数店舗有する事業所 上限 40,000円</li> <li>・宿泊事業所及び交通公共事業所 上限100,000円</li> <li>・神奈川県感染防止対策取組へ登録した事業所については、10,000円上乗せ</li> </ul>								

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
	事業費			14,000,000	
コスト 人件費	常勤職員		716,500		
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	0	0	716,500	
	総事業費	0	0	14,716,500	
財源内訳	国庫支出金		13,000,000		
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	0	0	1,716,500	
	財源合計	0	0	14,716,500	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	
令和元年度までの自己評価または改善点		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	助成事業のため
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし	
令和3年度以降の方向性	新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、引き続き、助成を行っていく	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	完了	国庫補助等の機会を見て実施すること。
------	----	--------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	
------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月 日作成

事業番号	11722	担当課等	観光課							
事務事業名	新型コロナウイルス感染症予防啓発事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	02	目	02	事業開始年度	2年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P41 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	II 地域産業の振興	1 商業・サービス業	(2) 団体活動の活性化と人材育成	① 商工業関連団体間の提携・交流強化				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	新型コロナウイルス感染症予防のゆたぼん啓発グッズを作製し、幼・保・小学生に周知する								
対象	幼・保・小学生								
内容	対策シールや下敷きを配付								

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
	事業費				
コスト 人件費	常勤職員				716,500
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	0	0		716,500
	総事業費	0	0		1,103,150
財源内訳	国庫支出金				386,650
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	0	0		716,500
	財源合計	0	0		1,103,150
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)	
必要性	町が実施する必要があるのか
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か
令和元年度までの自己評価または改善点	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 補助事業のため
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
令和3年度以降の方向性	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	完了
------	----

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	
------	--



令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月 日作成

事業番号	11723	担当課等	観光課							
事務事業名	デリバリー支援事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	02	目	02	事業開始年度	2年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P41 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	II 地域産業の振興	1 商業・サービス業	(2) 団体活動の活性化と人材育成	① 商工業関連団体間の提携・交流強化				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	コロナ対策としてテイクアウトや通信販売の実施に伴うwebの作製								
対象	町内飲食店事業者								
内容	町内飲食店・小売店の営業情報を発信していくためのチラシを作成し。また、テイクアウトでの注文や通信販売などの費対面での対応可能な取り組みへの支援。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
	事業費			900,000	
コスト 人件費	常勤職員		716,500		
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	0	0	716,500	
	総事業費	0	0	1,616,500	
財源内訳	国庫支出金		900,000		
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	0	0	716,500	
	財源合計	0	0	1,616,500	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	
令和元年度までの自己評価または改善点		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	補助事業のため
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし	
令和3年度以降の方向性		

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	完了	
------	----	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価		
------	--	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月 日作成

事業番号	3048	担当課等	観光課								
事務事業名	夏季行事開催事業										
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	昭和	年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P36 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① 観光イベント・施設情報の提供				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	夏季休暇の期間にイベントを開催することにより集客効果の向上を図る。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止								
対象	住民及び観光客								
内容	やっさまつり(踊りパレード)は、東京オリンピック2020が予定されていたため警察の警備の関係で2日間ではなく1日間(2日のみ)、海上花火大会及び海水浴場の運営を夏季行事として開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりました。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	35,133,716	27,121,176	230,000		
	常勤職員	7,328,000	7,424,000	589,660		
	非常勤職員等					
	人件費合計	7,328,000	7,424,000	589,660		
	総事業費	42,461,716	34,545,176	819,660		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	42,461,716	34,545,176	819,660		
財源合計	42,461,716	34,545,176	819,660			
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
観光ポスター・チラシ作製		事業の周知・広報	枚	41,620	40,500	
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
観覧者数		事業効果の客観的判断	人	145,100	135,500	

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	4	行政機関への申請、調整は町が行う必要性はあるが、行事全体はイベントの発想の多様性を考慮すると必ずしも町が行う必要性は認められなく、現在、官民共同の実行委員会方式で実施している。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	踊りパレード2日3.0万人、3日0.9万人及び海上花火大会(3.2万人)開催時には町民・観客が一同を介し増加しているので、一定の効果が得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	海上花火大会を実施し、観客は増加しているが、踊りパレードの観客は横ばいの傾向にある。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	住民や観光客が参加できるイベントであり、受益の機会は均等である。住民、観光客とも夏季休暇中の一大イベントとして認識されており、町としても同様に位置付け広報等を行い周知している。

令和元年度までの自己評価または改善点	平成14年度から踊りパレードに新調を加え、幕山公園通りの参加団体の維持に努め、平成24年度から新たに海上花火大会を7月に開催した。平成26年度からは、7月の海上花火大会を夏休みに入ってから祝休日としている。平成28年度からは、秋季花火大会を実施した。
--------------------	---

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	9 実行委員会を組織し、委託
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	海水浴場の開設を中止 やっさまつり、海上花火大会については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。
令和3年度以降の方向性	海水浴場については、新たなイベントガイドラインを遵守して実施を検討。 やっさまつり、海上花火大会については、東京OP開催期間となるため、規模を縮小し、実施予定。

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(見直し)	新型コロナウイルス感染症感染予防として、特にやっさまつりの神輿について、早急に検討すること。
------	---------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(見直し)	
------	---------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月 日作成

事業番号	3079	担当課等	観光課							
事務事業名	梅の宴行事開催事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 7 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策				
P36 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(1) 観光資源の充実・整備	① 観光イベント・施設情報の提供				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	幕山の裾野に広がる湯河原梅林で、立春イベントとして「梅の宴」を開催することにより集客効果の向上を図る。								
対象	住民及び観光客								
内容	多種多彩なイベント等(芸妓の舞・和太鼓等)を企画・運営し、梅の宴として開催。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	11,041,602	11,362,993	9,370,000		
	人件費	1,115,772	1,144,447	884,490		
	非常勤職員等					
	人件費合計	1,115,772	1,144,447	884,490		
	総事業費	12,157,374	12,507,440	10,254,490		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	12,157,374	12,507,440	10,254,490		
	財源合計	12,157,374	12,507,440	10,254,490		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
観光ポスター・チラシ作製		事業の周知・広報	枚	143,970	142,970	102,970
来園者数		事業効果の客観的判断	人	68,083	49,575	40,000
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
来園者数			人	68,083	49,575	40,000

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	行政機関への申請、調整は町が行う必要性はあるが、行事全体はイベントの発想の多様性を考慮すると必ずしも町が行う必要性は認められなく、現在、官民共同の実行委員会方式で実施している。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	梅の宴開催期間中には、約16,000人もの観光客が湯河原へ宿泊されているので、一定の効果が得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	近年、入園者数が減少傾向にある。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	均等と考えている。

令和元年度までの自己評価または改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・足の不自由な方へ、電動車いすを貸与。</li> <li>・ライトアップ期間の集客を見込んだイベント等の実施</li> </ul>
--------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	9 実行委員会に委託している。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症感染予防対策として、マスクの着用と入園入口において検温と手指の消毒を行うこととした。また、チップ広場のテーブルの間隔を大きくとり、園内でのソーシャルディスタンス、こまめな手洗いうがい等呼びかけるため放送を行うこととした。</li> <li>・緊急事態宣言期間延長により、催物はすべて中止としたが、一部オンラインイベントとして実施し、ホームページに掲載。</li> </ul>
令和3年度以降の方向性	令和3年度も新型コロナウイルス感染症感染予防対策を行いながら、来園客数が低迷している状況を踏まえ、新たなイベントの実施や積極的にプロモーション活動を継続して実施する必要がある。

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	来園者の増加を図るための方策を検討し、観光客数の増につなげていくこと。
------	----------	-------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月 日作成

事業番号	3111	担当課等	観光課								
事務事業名	湯河原温泉観光協会補助金										
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	昭和	年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P36 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① 観光イベント・施設情報の提供				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	湯河原温泉への誘客キャラバン、エージェン等への宣伝PR活動の実施、また、湯河原温泉独自のイベントを実施することにより誘客を図る。								
対象	住民及び観光客								
内容	湯河原温泉独自の多種多様なイベント(湯かけまつり等)の観光行事、誘客宣伝・キャラバンの実施及び観光案内業務の実施。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	34,200,000	34,200,000	34,200,000		
	人件費	732,800	742,400	716,500		
	非常勤職員等					
	人件費合計	732,800	742,400	716,500		
	総事業費	34,932,800	34,942,400	34,916,500		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	34,932,800	34,942,400	34,916,500		
	財源合計	34,932,800	34,942,400	34,916,500		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
イベント用チラシ作製		事業の周知・広報	枚			
取材協力		宣伝PR	回			
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)		対前年30%の減(コロナの影響)	千人	3,647	4,096	2,867

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	4	湯河原町において観光・誘客行事の円滑な実施に努め、観光の発展及び振興に寄与することを目的とした団体で、観光を基幹産業とする本町においては、町と連携して事業を実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	宣伝PR活動の実施、また、湯河原温泉独自のイベントを実施することにより誘客が図れている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	宣伝PR活動の実施、また、湯河原温泉独自のイベントを実施することにより誘客が図れている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会は均等と考える。

令和元年度までの自己評価または改善点	新たな行事、誘客宣伝など、誘客対策の検討。
--------------------	-----------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既の実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 湯河原温泉観光協会への補助金のため。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	湯かけまつり等の観光行事はコロナの影響により中止。 誘客宣伝・キャラバンの実施及び観光案内業務の実施。
令和3年度以降の方向性	本町の観光客数が低迷している状況を踏まえ、本町の観光振興推進のため、観光アドバイザーの助言を得て、新事業の展開や的確なプロモーション活動を町と連携し実施する必要がある。 新たに整備される万葉公園広場での新規イベントの検討や、やっさまつり等への新たな参画の検討などの必要がある。

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	観光協会に新規イベントの企画等の検討を依頼するなど、町と連携し観光客数の増につなげていくこと。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------



令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月 日作成

事業番号	3115	担当課等	観光課								
事務事業名	湯河原温泉誘客対策協議会補助金										
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	昭和	年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P34 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① 観光イベント・施設情報の提供				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
								○	
目的	JR、JTB、近畿日本ツーリスト、小田急トラベル、日本旅行等の協定旅館連盟が実施する誘客キャンペーンに対しての事業補助をすることにより、誘客を図る。								
対象	観光客								
内容	各エージェント(JR、JTB、近畿日本ツーリスト、小田急トラベル、日本旅行)が企画する誘客キャンペーンを補助することにより、より多く「ゆがわら」を商品としたパッケージを誘導する。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	1,500,000	1,500,000	1,500,000		
	人件費	732,800	742,400	716,500		
	非常勤職員等					
	人件費合計	732,800	742,400	716,500		
	総事業費	2,232,800	2,242,400	2,216,500		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	2,232,800	2,242,400	2,216,500		
	財源合計	2,232,800	2,242,400	2,216,500		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
誘客宣伝数		誘客宣伝・販売促進	回			
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)		対前年30%の減(コロナの影響)	千人	3,647	4,096	2,867

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	4 観光客数が低迷している現状を踏まえ、各エージェントに、より多く「ゆがわら」を商品としたパッケージを企画誘導する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 駅コンコースでのキャラバンや、販売店などで湯河原温泉のPRやパッケージ商品の販売促進などを実施することにより、誘客が図れている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 各エージェントによる、湯河原温泉のPRやパッケージ商品の販売などにより、誘客が図れている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 受益の機会は均等と考える。

令和元年度までの自己評価または改善点	ゆるきゃらを使用したのキャラバンの実施。
--------------------	----------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 湯河原温泉誘客対策協議会への補助金のため。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	SNSの利用やゆるきゃらを活用した誘客活動なども検討
令和3年度以降の方向性	本町の観光客数が低迷している状況を踏まえ、本町の観光振興推進のため、観光アドバイザーの助言を得て、新事業の展開や的確なプロモーション活動を町と連携し実施する必要がある。

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	各エージェントにより多くのパッケージ商品を企画してもらい、観光客数の増につなげていくこと。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月 日作成

事業番号	3119	担当課等	観光課								
事務事業名	誘客宣伝事業										
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P36 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① 観光イベント・施設情報の提供				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	インターネットを活用した個人消費者へのPRを行い、宿泊客の誘導を図る。また、観光宣伝用ノベルティー等を作成し、各種観光キャラバン等で配布し誘客を図る。								
対象	観光客								
内容	旅行エージェント(リクルート、楽天トラベル等)のインターネットの活用や誘客キャラバンの実施。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)	
コスト	事業費	7,350,000	7,350,000	10,818,000	
	人件費	732,800	742,400	716,500	
	非常勤職員等				
	人件費合計	732,800	742,400	716,500	
	総事業費	8,082,800	8,092,400	11,534,500	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	8,082,800	8,092,400	11,534,500	
財源合計	8,082,800	8,092,400	11,534,500		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
誘客キャラバン数	誘客宣伝	回			
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)	対前年30%の減(コロナの影響)	千人	3,647	4,096	2,867

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	4 観光を基幹産業とする本町において、町と連携して事業を実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 インターネットの活用や誘客キャラバンの実施により、誘客が図られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 インターネットの活用や誘客キャラバンの実施により、誘客が図られている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 受益の機会は均等と考える。
令和元年度までの自己評価または改善点	インターネットのアクセス数、エリア別の観光客数、年齢層などを解析し、具体的な戦略を検討する。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	委託にて実施済み
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	大手旅行ネットエージェントにて、特集ページの作成及びクーポン付き宿泊プランの作成・販売。	
令和3年度以降の方向性		

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	継続して事業を実施することにより、観光客数の増につなげること。
------	----------	---------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月 日作成

事業番号	3135	担当課等	観光課							
事務事業名	湯河原梅林公園管理事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 7 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P36 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① 観光イベント・施設情報の提供				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	湯河原梅林公園への来園者を迎えるにあたり、きめ細やかなサービスを提供することにより、多くのリピーターを確保し、更なる活性化を図る。また、電子マネー端末機を導入し料徴収の迅速化を図り集客効果の向上を見込む。								
対象	住民及び観光客								
内容	湯河原梅林公園の開園に伴う必要な会場設備、料金徴収に伴う委託や電子マネー端末機の導入、入園券の印刷、仮設トイレの設置等の経費。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	18,215,770	17,242,553	18,125,000		
	人件費	1,115,772	1,144,447	884,490		
	非常勤職員等					
	人件費合計	1,115,772	1,144,447	884,490		
	総事業費	19,331,542	18,387,000	19,009,490		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	19,331,542	18,387,000	19,009,490		
	財源合計	19,331,542	18,387,000	19,009,490		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
観光ポスター・チラシ作製		事業の周知・広報	枚	143,970	142,970	102,970
来園者数		事業効果の客観的判断	人	68,083	49,575	40,000
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
来園者数			人	68,083	49,575	40,000

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	4	湯河原梅林公園の開園に伴う必要な会場設備などは、町が整備する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	湯河原梅林公園への来園者を迎えるにあたり、きめ細やかなサービスを提供することにより、多くのリピーターを確保している。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	立春の観光行事として、町内外で広く認知されている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	来園者が、快適かつ安全に見学ができています。
令和元年度までの自己評価または改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>渋滞緩和を目的とし、教育センター駐車場を利用したのパーク&amp;バスライドの実施。</li> <li>電子マネー(suica)をど来園者の利便性の向上を図った。</li> <li>旅館の送迎用バスを、第1駐車場まで乗り入れを実施。</li> </ul>		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既の実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	<p>3</p> <p>湯河原梅林公園の開園に伴う施設整備等のため、町が行う必要がある。料金徴収業務等については、既に委託済み</p>
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>梅林ライトアップ来場者の減少により廃止。</li> <li>出店ブース軒先テントの設置、長年堆積したチップ広場のチップの鋤取りを実施。</li> <li>新型コロナウイルス感染症感染予防対策として、マスクの着用と入園入口において検温と手指の消毒を行うこととした。また、同対策としてトイレ等の清掃・消毒を徹底した。</li> </ul>
令和3年度以降の方向性	<p>令和3年度も新型コロナウイルス感染症感染予防対策を行いながら、来園者が、快適に散策でき、魅力ある地場製品の販売など、誘客の増加を図れるよう、継続していく必要がある。</p>

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	事業内容の見直しを図り効果的に事業を実施することにより、観光客数の増につなげていくこと。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月 日作成

事業番号	3162	担当課等	観光課							
事務事業名	もみじの郷行事開催事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 18 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策				
P34 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① イベントの充実				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奥湯河原池峯地区において「もみじの郷」を秋の誘客の基盤とするため、行事を開催するため。</li> <li>・行事開催に伴う宣伝及びPR事業</li> <li>・もみじの郷チラシ作製</li> </ul>								
対象	観光客、ハイカー、もみじの郷チラシ受領者								
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奥湯河原を中心とした紅葉の美しさを広く周知</li> <li>・近郊周遊型の誘致を図る</li> </ul>								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	1,250,000	1,250,000	100,000		
	人件費	732,800	742,400	716,500		
	非常勤職員等					
	人件費合計	732,800	742,400	716,500		
	総事業費	1,982,800	1,992,400	816,500		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	1,982,800	1,992,400	816,500		
	財源合計	1,982,800	1,992,400	816,500		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
お茶室利用者			人			
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)		対前年30%の減(コロナの影響)	千人	3,647	4,096	2,867

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	3	必要性がある。 秋の観光客を誘客するため
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	2	費用対効果が得られていない。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	2	成果が得られていない
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会が均等である。
令和元年度までの自己評価または改善点	・もみじのハイキングコースの周知		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	9 一般社団法人湯河原温泉観光協会へ委託
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	・もみじの現状(落葉の進捗状況)を把握し、早く利用者(ハイカー客)へ周知
令和3年度以降の方向性	本町の観光客数が低迷している状況を踏まえ、秋の誘客推進を図るため、町が継続して実施する必要がある一方、費用対効果の面から、あらたな事業への振替の検討時にきていると考える。

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(見直し)	継続し事業を実施することにより、観光客数の増につなげるとともに、より一層の誘客を図るため実施内容について再検討をすること。
------	---------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(見直し)	
------	---------	--



令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月 日作成

事業番号	3166	担当課等	観光課							
事務事業名	梅基金積立金									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 7 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P34 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① イベントの充実				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
								○	
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	湯河原梅林の保護育成・整備事業の財源とするための積立金。								
対象	町民・観光客								
内容	梅の宴行事開催中、募金箱を設置し、寄付を募り、湯河原梅林の保護・育成に活用している。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	106,862	58,298	200,000		
	人件費	30,156	30,931	29,483		
	非常勤職員等					
	人件費合計	30,156	30,931	29,483		
	総事業費	137,018	89,229	229,483		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	137,018	89,229	229,483		
	財源合計	137,018	89,229	229,483		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
梅基金寄付金			円	106,862	58,928	40,000
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	湯河原梅林という貴重な共有財産を次世代に引き継ぐためにも、町が実施する必要と責任がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	3	
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	3	梅の宴の来場者数と比例するため、来場者が少ないと成果が低いと思われる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会は均等である。

令和元年度までの自己評価または改善点	
--------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既の実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 町基金であるため。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	梅の宴開催期間中に募金箱を設置。 梅林を観光資源として保護育成することの重要性について再認識する機会となるため、梅基金についても積極的に寄付金を募る方策を検討したい。
令和3年度以降の方向性	梅PPV対策の観点からも、湯河原梅林という貴重な共有財産を次世代に引き継ぐためにも、継続して実施する必要がある。

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	引き続き、湯河原梅林という貴重な共有財産を次世代に引き継ぐため、寄付金を募る方策について検討していくこと。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月 日作成

事業番号	3170	担当課等	観光課							
事務事業名	宿泊促進事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 22 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P36 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(4) 観光情報発信の活性化、観光宣伝の強化	① 観光イベント・施設情報の提供				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	・湯河原温泉旅館協同組合が宿泊促進事業として、アンケートによる抽選で宿泊ギフト券を発行し、宿泊リピーターとして誘客を図る。また、湯河原温泉落語、三遊亭小遊三門会を開催し、リピーター客を確保する。								
対象	観光客、インターネット利用者								
内容	・アンケートによる抽選宿泊ギフト券発行 ・宿泊誘客事業 ・旅行情報誌等への掲載及びインターネットを活用したPR事業 ・湯河原温泉落語の実施 ・小遊三門会の実施								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	43,672,661	12,207,304	8,032,000		
	人件費	732,800	742,400	716,500		
	非常勤職員等					
	人件費合計	732,800	742,400	716,500		
	総事業費	44,405,461	12,949,704	8,748,500		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	44,405,461	12,949,704	8,748,500		
財源合計	44,405,461	12,949,704	8,748,500			
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
宿泊券発行冊数			冊			
お座敷券発行冊数			冊			
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)		対前年30%の減(コロナの影響)	千人	3,647	4,096	2,867

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 必要性がある。 観光客のニーズを把握することができる。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 費用対効果が得られている。 観光客のニーズを把握することができる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 成果が得られている。 観光客のニーズを把握することができる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 受益の機会が均等である。
令和元年度までの自己評価または改善点	湯河原町の観光戦略を明確化することにより、誘客につなげるイメージギャップ調査を実施 落語一門会事業の開催	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	湯河原温泉観光協会へ委託済み
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	宿泊客を増やすため、宣伝事業(インターネット配信)や誘客キャラバンを実施 湯河原町の観光戦略を明確化することにより、誘客につなげるイメージギャップ調査を実施。 湯河原温泉落語の実施及び小遊三一門会を実施。	
令和3年度以降の方向性	本町の観光客数が低迷している状況を踏まえ、誘客事業に伴う本町の観光振興推進のため、町が継続して実施する必要がある。 新型コロナウイルス感染症防止対策を行い、実施していく。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	継続して事業を実施することにより、観光客数の増につなげていくこと。
------	----------	-----------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月 日作成

事業番号	3177	担当課等	観光課							
事務事業名	観光立町推進事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 24 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策				
P34 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① イベントの充実				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年6月に策定した「観光立町推進計画」に基づき、観光立町の実現に向けた施策として、観光立町推進会議の審議を経て、講演会等を開催。</li> <li>観光大使及びゆたぼんファイブがイベント等に出演する委託料を計上。</li> </ul>								
対象	観光客、観光大使、観光立町推進計画委員等								
内容	伝統芸能伝承事業 観光大使による観光宣伝 ゆたぼんイベント出演								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	12,798,594	8,164,239	14,103,000		
	人件費	732,800	742,400	716,500		
	非常勤職員等					
	人件費合計	732,800	742,400	716,500		
	総事業費	13,531,394	8,906,639	14,819,500		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	13,531,394	8,906,639	14,819,500		
財源合計	13,531,394	8,906,639	14,819,500			
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
ゆたぼんファイブのイベント出演			回	67	47	2
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)		対前年30%の減(コロナの影響)	千人	3,647	4,096	2,867

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	県から万葉荘を取得し、万葉荘の営業を存続する事業は、町以外において実施することができない。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	効果検証は難しいが、約2万人の宿泊者を確保していること、一定の効果が得られていると考える。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	かつて、閉鎖となる予定であった万葉荘を県から取得し、年間約2万人の宿泊者を確保していることは一定の成果を得ていると考える。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	観光事業者のみならず、町内各種団体及び公募による委員をもって構成する観光立町推進会議に諮って事業を進めているため、受益の機会は均等であると考え。

令和元年度までの自己評価または改善点	町が万葉荘を取得し、運営事業者を公募で募り、選定委員会において、プロポーザル方式で事業者を決定した。
--------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	ゆたぼんのイベント出演等を委託済み
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	・第2期観光立町推進計画の策定	
令和3年度以降の方向性	・第2期観光立町推進計画に基づく実施計画の策定及び進捗管理を実施していく。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(見直し)	令和2年度中もしくは3年度の早い段階で湯河原町観光立町推進計画に沿った実施計画を作成し、実行していくこと。
------	---------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(見直し)	
------	---------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月 日作成

事業番号	3219	担当課等	観光課							
事務事業名	圏央道開通誘客促進事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 26 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P36 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(4) 観光情報発信の活性化、観光宣伝の強化	① 観光イベント・施設情報の提供				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	圏央道の開通に伴い、新たな誘客先を開拓するため、各種誘客促進事業を一般社団法人湯河原温泉観光協会に委託するもの。								
対象	神奈川県北エリア(相模原市 72万人)、東京都多摩エリア(圏域人口154万人)、埼玉県西部エリア(圏域人口 89万人)を対象とした観光客								
内容	神奈川県内では相模原市周辺地区から、東京都では青梅市等多摩地区から、埼玉県では西部地区からの自動車を利用しての本町への新たな観光客の来訪が期待できる。当該地区には海がないことから、海水浴や花火大会、やっさまつりと続く夏季行事を中心とした誘客活動を観光関係団体等と連携し、展開していく。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	4,300,000	4,300,000	2,000,000		
	人件費	常勤職員	732,800	742,400	716,500	
		非常勤職員等				
		人件費合計	732,800	742,400	716,500	
	総事業費	5,032,800	5,042,400	2,716,500		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	5,032,800	5,042,400	2,716,500		
財源合計	5,032,800	5,042,400	2,716,500			
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
キャラバンの実施			回			
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)		対前年30%の減(コロナの影響)	千人	3,647	4,096	2,867

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 観光客数が低迷している現状を踏まえ、観光を基幹産業とする本町においては、町が観光協会と連携し、本事業を実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 平成26年度に行ったキャラバンにおいて、効果測定のための「町内施設招待券」を配布したが、回収率は1%程度であった。効果測定の検証は難しい。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 全国梅サミット協議会加盟の東京都青梅市、埼玉県越生町、群馬県安中市が圏央道の沿線地域にあるため、同協議会で課題となっている相互交流活動の一助になったと考える。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 本事業に関しては、受益の機会は均等であると判断している。
令和元年度までの自己評価または改善点	圏央道沿線の中で、全国梅サミット協議会加盟自治体での誘客キャラバンのほか、日帰り入浴施設を有するあきる野市との交流を優先して開催している。 (全国梅サミット協議会では、例年サミット会議の開催のみでなく、相互交流事業が課題となっていた。)	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	湯河原温泉観光協会へ委託済み
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、圏央道沿線の旅行業者等へ観光パンフレットの郵送等の情報発信を実施。また、県の観光協会と合同で長野・群馬地域での観光キャラバン及び商談会を実施予定。	
令和3年度以降の方向性	・圏央道開通から一定の期間が経過してきているため、事業を見直し新たな誘客を図っていくこと。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	廃止・中止	
------	-------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	廃止・中止	
------	-------	--



令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月 日作成

事業番号	3223	担当課等	観光課							
事務事業名	さつきの郷誘客事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 15 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P34 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① イベント充実				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	四季彩のまちを具現化する場所の一つとして、さつきの郷の開花に合わせ、誘客を図るもの。								
対象	観光客								
内容	星ヶ山公園さつきの郷観光宣伝チラシの作成(30,000枚)をする。 星ヶ山公園さつきの郷行事期間中の交通整理員等の委託業務。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	835,344	668,649	0		
	人件費	1,099,200	11,136,000			
	非常勤職員等					
	人件費合計	1,099,200	11,136,000	0		
	総事業費	1,934,544	11,804,649	0		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	1,934,544	11,804,649	0		
	財源合計	1,934,544	11,804,649	0		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
チラシ配布数		広報	部	30,000	30,000	
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
来場者数		観光客の誘致	人	3,525	3,059	
自家用車台数			台	1,597	1,336	

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	4	観光客を誘致し、観光振興の発展に寄与しているため。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	さつきの郷には、町内外から来場されており、一定の集客・消費拡大につながっている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	地場製品の販売、消費拡大など一定の観光振興につながっている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会は均等である。
令和元年度までの自己評価または改善点	梅雨の時期のため、天候及び花の開花状況によって来場者数が大きく左右される状況にあるが、事業の広報の仕方について、検討、改善した。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既の実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	1	イベント等については、委託可能 交通整理等については、既に委託済み 今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	アロハフラダンスなどのイベントによる誘客を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。	
令和3年度以降の方向性	R2年度の梅の宴と同じように感染予防対策を実施し、開催を検討する。 四季彩のまちを具現化する場所として、眺望も良く、湯河原町にとって貴重な観光資源である。SNSを利用した情報発信、開花情報のリアルタイムで発信することなど、効果的な情報発信の方法について検討する。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(拡大)	四季彩のまちを具現化する場所として、行事を継続し、効果的な情報発信について更に検討していき、観光客の増につなげていくこと。
------	--------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(拡大)	
------	--------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月 日作成

事業番号	3233	担当課等	観光課							
事務事業名	観光アドバイザー・プロモーション事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 27 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策				
P36 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(4) 観光情報発信の活性化、観光宣伝の強化	① 観光イベント・施設情報の提供				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	本町の観光客数が長年低迷している状況を踏まえ、観光の振興につながる新分野進出・新事業展開やインバウンド事業の推進などについて専門的な知識を持つ観光アドバイザーからの適切かつ有効な指導、助言を受ける。多種多様なメディアに対して働きかけ、本町の情報発信の拡充を図る。町の魅力を伝えられる写真や映像のデータベース化を図る。								
対象	観光客								
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光アドバイザーの設置</li> <li>観光プロモーション活動の実施</li> <li>湯河原観光のポータルサイトの立ち上げ、町の魅力を伝えられる写真や映像のデータベース化</li> <li>インフルエンサーを使っの湯河原観光のSNSでの発信</li> </ul>								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	8,998,400	9,619,860	6,000,000		
	人件費	732,800	742,400	716,500		
	非常勤職員等					
	人件費合計	732,800	742,400	716,500		
	総事業費	9,731,200	10,362,260	6,716,500		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	9,731,200	10,362,260	6,716,500		
	財源合計	9,731,200	10,362,260	6,716,500		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
アドバイザーとの意見交換・講演等		アドバイザーの出席回数	回			
プロモーション撮影		動画・静止画等の撮影	回			
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)		対前年30%の減(コロナの影響)	千人	3,647	4,096	2,867

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 観光客数が低迷している現状を踏まえ、観光を基幹産業とする本町においては、町が本事業を実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 効果検証は難しいが、観光振興につながる新分野、新事業などの、インバウンド事業の推進に適切かつ有効な指導、助言を得ることができ、継続して事業を実施することにより、観光客増につなげたい。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 町の魅力を伝えられる写真や映像のデータベース化が図られ、プロモーションビデオも完成することができた。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 観光事業者のみならず、町内各種団体及び公募による委員をもって構成する観光立町推進会議に諮って事業を進めているため、受益の機会均等であると考え。
令和元年度までの自己評価または改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小冊子(パン&amp;ランチ・ラーメン)企画発行</li> <li>・部会を編成して、広報部会では、フリーペーパー「off」を年4回発行して、観光客への配布を行った。</li> <li>・観光アドバイザー政所利子先生に観光立町推進会議に出席いただき、湯河原の観光施策の方向性のアドバイスをいただく。</li> </ul>	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	湯河原温泉観光協会へ委託済み
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光アドバイザーの委嘱 政所利子氏に委嘱</li> <li>・観光アドバイザーの観光立町推進会議への出席</li> <li>・フリーペーパーOffの企画・編集</li> <li>・湯河原をイメージできるキャッチコピーを作成</li> <li>・キャッチコピーの看板掲出(4か所)を実施</li> </ul>	
令和3年度以降の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本町の観光客数が低迷している状況を踏まえ、本町の観光振興推進のため、専門的な知識を持つアドバイザーの助言を得て、新事業の展開や的確なプロモーション活動を町が継続して実施する必要がある。</li> <li>・キャッチコピーの活用と浸透を図る。</li> </ul>	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	継続して事業を実施することにより、観光客数の増につなげていくこと。
------	----------	-----------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月 日作成

事業番号	3237	担当課等	観光課							
事務事業名	インバウンド情報発信事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 27 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策				
P37 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(6) おもてなしの向上	③ 国際観光地に向けた外国人観光誘客活動				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	湯河原町を訪れる外国人観光客に対するホスピタリティ等の向上を図るため、外国語パンフレット及びホームページの運営。2019ラグビーワールドカップ、2020東京オリンピック・パラリンピックに向けたインバウンド対応								
対象	外国人観光客または湯河原町を訪れようとする外国人観光客								
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人向けホームページの管理・運営</li> <li>インフルエンサーによる台湾への情報発信</li> <li>外国人観光案内所の登録</li> <li>在日外国人に向けた情報発信</li> </ul>								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	2,100,000	1,500,000	1,500,000		
	人件費	732,800	742,400	716,500		
	常勤職員					
	非常勤職員等					
	人件費合計	732,800	742,400	716,500		
	総事業費	2,832,800	2,242,400	2,216,500		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	2,832,800	2,242,400	2,216,500		
	財源合計	2,832,800	2,242,400	2,216,500		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
パンフレットの発行部数			部			
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)		対前年30%の減(コロナの影響)	千人	3,647	4,096	2,867

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 観光客数が低迷している現状を踏まえ、観光を基幹産業とする本町においては、町が本事業を実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 効果検証は難しいが、設置した3つの部会での活動は、インバウンド事業の推進に適切かつ有効な手段となっていると思われる。継続して事業を実施することにより、観光客増につなげたい。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 2019年のラグビーWC及び2020年の東京OP・PPに向け、湯河原温泉の情報を外国人観光客により強力に発信していく必要があり、その一助となっている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 観光事業者のみならず、町内各種団体及び公募による委員をもって構成するインバウンド情報発信推進会議に諮って事業を進めているため、受益の機会は均等であると考えられる。

令和元年度までの自己評価または改善点	観光コース部会・飲食店部会・旅館ホテル部会の3つの部会を設置し、各分野においてにアドバイス等もらいながら、外国人観光客の獲得のための検討をした。平成30年度は部会を再編し、事業目的ごとに、事業計画を作成し、事業を推進した。
--------------------	---

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	湯河原温泉観光協会に委託済み
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人向けホームページの管理・運営</li> <li>インフルエンサーによる台湾への情報発信</li> <li>外国人観光案内所の登録</li> <li>在日外国人に向けた情報発信</li> </ul>	
令和3年度以降の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページの拡充や外国人向けパンフレットの充実</li> <li>SNSを活用した海外への情報発信の実施</li> </ul>	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	増加が見込まれる外国人観光客に対して、継続して事業を実施することにより、本町の観光客数の増につなげていくこと。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月 日作成

事業番号	3241	担当課等	観光課							
事務事業名	観光親善交流事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 28 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P36 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(4) 観光情報発信の活性化、観光宣伝の強化	① 観光イベント・施設情報の提供				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	文化交流都市提携をしている豊島区との交流や、全国梅サミット協議会加盟市町である青梅市と相互交流を実施することにより、親善交流を推進するもの。								
対象	豊島区・青梅市・越生町・あきる野市								
内容	豊島区及び青梅市の観光キャラバン・物産展に参加する。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	579,000	250,000	250,000		
	人件費	常勤職員	366,400	371,200	358,250	
		非常勤職員等				
		人件費合計	366,400	371,200	358,250	
	総事業費	945,400	621,200	608,250		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	945,400	621,200	608,250		
	財源合計	945,400	621,200	608,250		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
物産展等への参加		親善交流の推進	回			
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
宿泊助成人数		親善交流の推進	人			

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	観光客数が低迷している現状を踏まえ、町が積極的に親善都市や全国梅サミット加盟市町と文化や観光面での交流を活性化させる必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	豊島区、青梅市とは、文化、観光面で相互交流促進されている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	観光キャラバンの実施や美術館の文化交流などにより、来訪者が増加することもあるため、一定の成果があると考えられる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会は均等である。

令和元年度までの自己評価または改善点	豊島区・青梅市・越生町・あきる野市でのキャラバンの実施や物産展への参加、また各区市町民の湯河原温泉への宿泊助成を行った。
--------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既の実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 町が親善交流等を締結しているため。物産展の参加については、すでに委託して実施。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	・IKE-SUN Parkへの出店
令和3年度以降の方向性	豊島区及び青梅市以外の全国梅サミット協議会加盟市町、圏央道沿線市町に対し観光親善交流の展開を検討。

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	誘客を期待できる事業であるため、継続して実施していくこと。
------	----------	-------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--



令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月 日作成

事業番号	3253	担当課等	観光課							
事務事業名	最旬マガジン(フリーペーパー)発行事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 29 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P34 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① イベントの充実				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	本当に求められる地域の情報、魅力ある観光情報を町内外へ発信し、誘客を図る。								
対象	町民・観光客								
内容	最旬マガジン(フリーペーパー)の発行 湯河原散策マップの発行								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	3,287,520	3,233,520	2,599,000		
	人件費	452,340	463,965	442,245		
	非常勤職員等					
	人件費合計	452,340	463,965	442,245		
	総事業費	3,739,860	3,697,485	3,041,245		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	3,739,860	3,697,485	3,041,245		
	財源合計	3,739,860	3,697,485	3,041,245		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
フリーペーパーの発行			部	40,000	40,000	32,000
散策マップ印刷			部	50,000	40,000	40,000
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)		対前年30%の減(コロナの影響)	千人	3,647	4,096	2,867

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	観光客への周知・イベント会場での配布などで、「湯河原町」をアピールするチラシ・パンフレットは町が作製する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	パンフレット配布により、受領者が湯河原を訪れる行程あるいは散策できる施設の照会に対応ができるため、費用に見合った効果が得られる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	携帯端末が普及し、インターネット利用者が急増していますが、イベント開催内容・ハイキングコース案内などの配布には成果が得られる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	湯河原を訪れる計画を立てる目的として、受益の機会が均等である。

令和元年度までの自己評価または改善点	毎年、リニューアルする際、観光目的地の加除
--------------------	-----------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	フリーペーパーの企画・編集・発行を委託済み
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	本当に求められる旬な地域の情報を掲載したフリーペーパーを発行。12ページ仕様から16ページ仕様に変更していたが、予算の関係上12ページ仕様に戻し、年間4回各8,000部に変更した。 配架場所については、拡大していく。	
令和3年度以降の方向性	ラーメンマップ、パンマップ、日帰り温泉マップなど観光客が必要とするテーマ別チラシの作成を検討	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(見直し)	観光情報発行事業とし、ラーメンマップ、パンマップ、日帰り温泉マップなど観光客が必要とするテーマ別チラシの作成を検討。
------	---------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(見直し)	
------	---------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月 日作成

事業番号	3260	担当課等	観光課							
事務事業名	ロケツーリズム推進事業									
予算科目コード	会計	1	款	6	項	1	目	2	事業開始年度	令和 2 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	② 民間活力の活用				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	湯河原町内で行われる映画、テレビドラマ等の円滑なロケ撮影を支援し、美しい自然景観、歴史、文化、街並みなど湯河原の魅力映像を通じてより多くの人々に発信することにより、観光振興、地域振興並びに地域経済の活性化を推進し、まちへの愛着が深まることを目指すもの。								
対象	住民及び観光客								
内容	ロケの受入態勢を一本化し、経済三団体との組織的なロケ誘致を実施。映像制作者向けロケ地検索サイト「ロケなび!」、ロケ情報誌「ロケーションジャパン」へ掲載。HPや広報紙等でエキストラ、ロケ地登録の実施。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
	事業費			6,420,000	
コスト 人件費	常勤職員		600,000		
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	0	0	600,000	
総事業費	0	0	7,020,000		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	0	0	7,020,000	
財源合計	0	0	7,020,000		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
ロケ実績		件			
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
広告換算効果		円			

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	
令和元年度までの自己評価または改善点		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	受入窓口を一本化し、組織的なロケ対応を確立したため。セミナー、ロケなび、ロケーションジャパンについては委託。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	ロケの受入態勢を一本化し、経済三団体との組織的なロケ誘致を実施。映像制作者向ロケ地検索サイト「ロケなび!」、ロケ情報誌「ロケーションジャパン」へ掲載。エキストラ、ロケ地登録の実施。	
令和3年度以降の方向性	ロケ実績を活用し、出演者の写真を使ったロケ地マップの作成。町民向けの説明会として、シンポジウムの開催。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	誘客が期待できる事業なので、継続して実施していくこと。
------	----------	-----------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月 日作成

事業番号						担当課等	観光課				
事務事業名	外国人向け情報発信促進事業										
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 28 年度	

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P37 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(6) おもてなしの向上	③ 国際観光地に向けた外国人観光誘客活動				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
	○								
目的	ラグビーワールドカップ2019、オリンピック・パラリンピック2020を契機と捉え、来日する欧米人の湯河原町への誘客を促進し、機運醸成を図る。 第一段階として、日本との関係が深く、欧米人の感覚も共有する日系人をターゲットとし、インバウンド促進を図る。								
対象	インバウンド観光客								
内容	海外向けプロモーションを実施しながら、日系外国人が来訪する仕組みづくりを検討していく。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	795,916	99,900			
	人件費	常勤職員	366,400	371,200		
		非常勤職員等				
		人件費合計	366,400	371,200	0	
	総事業費	1,162,316	471,100	0		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	1,162,316	471,100	0		
	財源合計	1,162,316	471,100	0		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
来訪者誘致の実施			回			
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)		対前年比3%増	人	3,647	4,096	

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 平成28.29年度に実施した、トップセールスを契機に、海外向けプロモーションを実施しながら、日系外国人が来訪する仕組みづくり町が実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 報告会の開催などにより、観光事業者との情報共有が図られ、インバウンドの機運醸成につながっており、費用に見合った効果が得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 確実な、話題性によるメディア露出、報告会の開催による、町内観光事業者との情報共有により、インバウンドの機運醸成につながっている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 受益の機会が均等である。

令和元年度までの自己評価または改善点	
--------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	9 既に委託で実施済み
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	日系外国人が来訪する仕組みづくりを検討していく。 (平成28・29年度は、日系人をターゲットとし、至近に位置するハワイにてトップセールスを実施)
令和3年度以降の方向性	日系人をターゲットとして、継続して実施することにより、他地域との特色を明確にし、日系人コミュニティへの信頼性を構築していきたい。

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	休止	第2期の実施を検討すること。
------	----	----------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	休止	
------	----	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月 日作成

事業番号						担当課等	観光課			
事務事業名	観光広報推進事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 28 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P36 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(4) 観光情報発信の活性化、観光宣伝の強化	① 観光イベント・施設情報の提供				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	高度化・多様化するニーズを持つ観光客に対し、湯河原の観光資源等の情報を的確に提供することにより、誘客につなげる。 また、魅力的で話題性のある観光に資する情報を継続的に戦略的に発信する機会を創出することにより、国内外からの観光客の誘致を図り、地域の活性化を図る。								
対象	観光客・町民								
内容	各種メディアへの観光に資する情報の提供 各種メディアへの観光に資する情報の提供機会の創出								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	2,500,000	1,000,000			
	人件費					
	常勤職員	366,400				
	非常勤職員等					
	人件費合計	366,400	0	0		
	総事業費	2,866,400	1,000,000	0		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	2,866,400	1,000,000	0		
	財源合計	2,866,400	1,000,000	0		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
観光広報懇親会の実施			回			
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)		対前年比3%の増	千人	3,647	4,096	

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 旅行記者や旅行ジャーナリスト、報道関係者の方に常に湯河原町は何かやっているぞ。という気にかけていただく存在となるべく、湯河原町が実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 観光広報懇談会の実施により、確実な記事掲載につながり、メディア露出アップにつながっており、梅の宴においては、来園者増につながり、費用に見合った効果が得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 確実な、メディア露出の増、懇談会での関係性の構築により、年間を通して、観光情報を発信することができている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 湯河原を訪れる計画を立てる目的として、受益の機会が均等である。

令和元年度までの自己評価または改善点	観光広報推進事業の実施時期については、湯河原町にとって最大効果が得られる時期に実施した。
--------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	湯河原温泉観光協会へ委託済み
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	観光広報懇談会の事業実施時期については、湯河原町にとって最大効果が得られる時期に実施したい。 (平成29年度は、駅リニューアルに合わせて実施・平成30年度は梅の宴時期に実施予定)	
令和3年度以降の方向性	各メディアにとって、湯河原町は、「いつでも何かやっているぞ」という位置づけになれるよう、継続して実施したい。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	完了
------	----

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	
------	--



令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月 日作成

事業番号							担当課等	観光課			
事務事業名	万葉亭運営事業										
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	昭和	年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P34 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① イベントの充実				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	万葉公園入口の茶室「万葉亭」の運営管理事業								
対象	観光客								
内容	万葉公園入口にある茶室万葉亭を運営し、万葉公園来園者へ抹茶とお茶の提供 大手旅行業者と連携し、オプション商品の一つとする。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	900,000	800,000			
	人件費					
	常勤職員	364,150	371,200			
	非常勤職員等					
	人件費合計	364,150	371,200	0		
	総事業費	1,264,150	1,171,200	0		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	1,264,150	1,171,200	0		
	財源合計	1,264,150	1,171,200	0		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
開館日数		イベント・祭事の充実	日			
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
来園者数		観光客の誘致	人			

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	4	観光客数が低迷している現状を踏まえ、観光を基幹産業とする本町においては、町が観光協会と連携し、本事業を実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	3	大手旅行業者との連携により効率的に事業展開できている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	大手旅行業者との連携により、来園者数は、2000人以上を確保できている。今後、さらに外国人旅行者が増えると思われるので、日本文化を体験できる本事業は誘客に期待がもてる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会は均等である。

令和元年度までの自己評価または改善点	
--------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	湯河原温泉観光協会へ委託済み
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	万葉公園再整備工事のため休止	
令和3年度以降の方向性	引き続き、大手旅行業者と連携し、オプション商品として販売する。 また、外国人旅行者へ、日本文化を体験できるコンテンツとして、情報発信していく。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	今後、間違いなく増えるであろう外国人旅行者へ向けて、販路を開拓することにより、さらなる誘客を目指すこと。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月 日作成

事業番号							担当課等	観光課			
事務事業名	花菖蒲管理事業										
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	昭和	年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P34 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① イベントの充実				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	花菖蒲展を開催し、観光客の増加を図る。								
対象	観光客								
内容	ほたるの宴と同時期に花菖蒲展を開催し、観光客の増加を図る年間を通して、花菖蒲の育成を行う。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	900,000	900,000			
	人件費					
	常勤職員	366,400	371,200			
	非常勤職員等					
	人件費合計	366,400	371,200	0		
	総事業費	1,266,400	1,271,200	0		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	1,266,400	1,271,200	0		
	財源合計	1,266,400	1,271,200	0		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
花菖蒲展開催日数		観光イベントの充実	日			
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
花菖蒲展来場者数		観光客の誘致	人			

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	2 同時期に開催している、ほたるの宴において、十分に誘客をはかることが可能である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	2 花菖蒲展は期間限定の行事であるが、花菖蒲の育成には、年間を通した作業が必要である
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	2 同時期に開催している、ほたるの宴において、十分に誘客をはかることが可能であり、花菖蒲展だけの誘客効果となると低いと思われる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 受益の機会は均等である。
令和元年度までの自己評価または改善点		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既の実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	9 湯河原温泉観光協会へ委託済み
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	
令和3年度以降の方向性	同時期のほたるの宴で誘客を図ることができ、また、花菖蒲の育成管理における年間を通したランニングコストを勘案すると、今後、継続する必要はないと考える。また、官民連携事業の今後の展開によっては、展示会場の確保が難しい可能性がある。

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	廃止・中止
------	-------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	廃止・中止
------	-------

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月 日作成

事業番号			担当課等	観光課						
事務事業名	誘客キャラバン委託事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 21 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細 施 策				
P36 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① 観光イベント・施設情報の提供				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	箱根駅伝で芦ノ湖周辺までいらした方々に、湯河原温泉が箱根から近いことを再認識していただくとともに、梅の宴等のイベントの情報をお知らせすることで誘客を図る。								
対象	観光客								
内容	箱根駅伝の予選会及び本選ゴール付近での誘客キャラバンの実施。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	2,468,000	2,468,000			
	人件費					
	常勤職員	732,800	742,400			
	非常勤職員等					
	人件費合計	732,800	742,400	0		
	総事業費	3,200,800	3,210,400	0		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	3,200,800	3,210,400	0		
	財源合計	3,200,800	3,210,400	0		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
ノベルティ・チラシ配布			組			
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)		対前年比3%の増	千人	3,647	4,096	

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	4	湯河原町において観光・誘客行事の円滑な実施に努め、観光の発展及び振興に寄与することを目的とした団体で、観光を基幹産業とする本町においては、町と連携して事業を実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	ノベルティーを一緒に配布することにより、イベント情報だけでなく、湯河原町の特産品もPRすることができている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	湯河原町と箱根町の位置関係がプリントされた袋での配布により、効果的な宣伝が図れている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	受益の機会は均等と考える。

令和元年度までの自己評価または改善点	町・議会・観光協会で開催していたが、商工会も加わり、オール湯河原で実施している。 梅の宴特別優待券の同封し、その回収率による費用対効果の検証を実施
--------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	9 湯河原温泉観光協会へ委託済み
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	R2年度から誘客宣伝事業費の中に取り込み
令和3年度以降の方向性	本町の観光客数が低迷している状況を踏まえ、本町の観光振興推進のため、観光アドバイザーの助言を得て、新事業の展開や的確なプロモーション活動を町と連携し実施する必要がある。

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	廃止・中止
------	-------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	廃止・中止
------	-------

令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月 日作成

事業番号							担当課等	観光課			
事務事業名	ポスター観光宣伝事業										
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	昭和	年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P36 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	① 観光イベント・施設情報の提供				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
	○								
目的	湯河原温泉の観光誘致ポスターの作製にあたり、旅館組合・観光協会・商工会等の各種業界の会員等からなる「湯河原温泉宣伝推進委員」へ委託することにより、一貫したテーマで誘致ポスターの作製(春・秋)並びに首都圏各駅等への提出を実施し、常に新しい湯河原の周知を図る。								
対象	住民及び観光客								
内容	湯河原温泉をPRするのあたり、業界内の意見を統一しテーマを一本化することにより効果的な宣伝を行う。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	1,100,000	1,100,000			
	人件費					
	常勤職員	732,800	742,400			
	非常勤職員等					
	人件費合計	732,800	742,400	0		
	総事業費	1,832,800	1,842,400	0		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	1,832,800	1,842,400	0		
	財源合計	1,832,800	1,842,400	0		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
観光ポスターの作成		事業の周知・広報	枚	1,250		
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)		対前年比3%の増	千人	3,309		

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	4 湯河原温泉の活性化と発展に寄与することを目的とし、観光宣伝ポスターの製作を主とした宣伝活動を展開し、より一層の誘客を図る。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 小田急主要駅へ掲出することにより、首都圏からの誘客が図れている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 業界内の意見を統一し、テーマを一本化することにより効果的な宣伝が図れている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 受益の機会は均等である。

令和元年度までの自己評価または改善点	
--------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	9 湯河原温泉誘客対策協議会に委託
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	実施済事項及び今後の予定 テーマ及びポスターレイアウトは決定。9月には秋バージョンを作成。
令和3年度以降の方向性	本町の観光客数が低迷している状況を踏まえ、消費者に湯河原温泉を広く紹介する観光宣伝ポスターの企画・製作・掲出を実施するにあたり、業界及び商工関係者等の民間活力を事業に反映し、湯河原温泉の観光誘客を図る。

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(見直し)	
------	---------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(見直し)	
------	---------	--



令和2年度事務事業評価シート

令和3年3月 日作成

事業番号						担当課等	観光課				
事務事業名	西さがみ地区観光フェスティバル宣伝事業										
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	昭和 44 年度	

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P36 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 基幹産業の振興	1 観光	(3) 観光資源のネットワーク化	② 新規広域観光ルートの開発				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	小田原・南足柄・箱根・真鶴との2市3町で「西さがみ」という名称で共同宣伝を実施していくもの。 周遊型観光戦略のひとつとして、「西さがみ」共通のテーマを定め、連帯性をもたせ周遊できるエリアを広げ、更なる集客を図る。								
対象	観光客								
内容	公益社団法人神奈川県観光協会に2市3町合同事業を委託し、観光展・キャラバン等の開催、共同パンフレットの作製及びポスター宣伝を実施。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	900,000	900,000			
	人件費	常勤職員	732,800	742,400		
		非常勤職員等				
		人件費合計	732,800	742,400	0	
	総事業費	1,632,800	1,642,400	0		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	1,632,800	1,642,400	0		
	財源合計	1,632,800	1,642,400	0		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値	
観光プロモーション・キャラバン ポスター作成	誘客宣伝	回	8			
	広報・宣伝	枚	40,000			
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値	
観光入込数(日帰り・宿泊計)	対前年比3%の増	千人	3,309			

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	4 小田原・南足柄・箱根・真鶴との2市3町で「西さがみ」という名称で合同で事業委託することにより、周遊型観光戦略として、連帯性をもたせ「西さがみ地区」への誘客が図れる。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 共同宣伝することにより、JRの月別重点地区に指定され、誘客効果をあげている。また、関西・東北地方などでのキャラバンの実施により、誘客が図られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 周遊型観光戦略として、宣伝PR活動を実施することにより、「西さがみ地区」への誘客が図れている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 受益の機会は均等と考える。

令和元年度までの自己評価または改善点	小田原市観光大使の白井貴子氏による、テレビ、新聞社などでの「西さがみ地区」の誘客宣伝の実施。また、行政及び民間事業者との合同誘客宣伝を実施した。平成29年度は、各市町負担金の一律10万円の減額
--------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 西さがみ(2市3町)が分担金としている。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	・関西地方(大阪・名古屋)、東北地方(仙台)、首都圏(大宮・横浜・川崎)での誘客宣伝・キャラバンの実施。
令和3年度以降の方向性	外国人旅行客を取り込み、西さがみ地区に周遊できるような検討、新事業の展開など「西さがみ地区」への誘客を図る必要がある。

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	周遊型観光戦略として、連帯性をもたせ「西さがみ地区」への観光客数の増加を図っていくこと。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和 年 月 日作成

事業番号	3049	担当課等	観光課							
事務事業名	海水浴場運営事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 29 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P35 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	1 機関産業の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	(2) 観光施設の活用				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	海水浴場を開設し、湯河原の夏の魅力をPRする。								
対象	観光客・町民								
内容	湯河原海水浴場の開設								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	14,828,265	10,214,396	10,877,000		
	常勤職員	732,800	742,400	716,500		
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	732,800	742,400	716,500		
	総事業費	15,561,065	10,956,796	11,593,500		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	15,561,065	10,956,796	11,593,500		
	財源合計	15,561,065	10,956,796	11,593,500		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
海水浴場客数			人	53,600	64,100	
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)		対前年30%の減(コロナの影響)	千人	3,647	4,096	2,867

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 湯河原海水浴場の安全・安心を確保するためにも、町が実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 湯河原海水浴場の安全・安心が確保されており、効果が得られていると考えている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 湯河原海水浴場の安全・安心が確保され、家族連れなども安心して楽しめる海水浴場となっている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 受益の機会は均等と考えている。

令和元年度までの自己評価または改善点	海水浴場内の休憩台や区域ロープの修繕などを実施。
--------------------	--------------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 海水浴場の開設については、安全管理上から町が実施したい。監視業務については委託済み。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	7月11日～8月31日まで海水浴場の開設を予定していたが、県が示した方針に基づき、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。なお、来訪者の安全確保のための安全巡視パトロールの実施及び「救護連絡所」を設置した。
令和3年度以降の方向性	海水浴場の開設は、夏の湯河原温泉の重要な観光資源であり、今後、県が策定予定の新たなガイドラインに沿った形で海水浴場の開設を行っていきたい。

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	湯河原の夏の魅力をPRするうえで、事業を継続していく必要がある。
------	----------	----------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

令和2年度事務事業評価シート

令和 年 月 日作成

事業番号	3127	担当課等	観光課							
事務事業名	武者行列開催事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 29 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P35 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	1 機関産業の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	④ 歴史的・文化的資源の発掘				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	史実に基づき、春の観光行事として定着している武者行列を実施。								
対象	町民・観光客								
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月の第1日曜日に武者行列を実施</li> <li>・大人侍鎧・子供侍衣装の製作</li> </ul>								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)	
コスト	事業費	2,800,000	2,800,000	3,500,000	
	常勤職員	732,800	742,400	716,500	
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	732,800	742,400	716,500	
	総事業費	3,532,800	3,542,400	4,216,500	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	3,532,800	3,542,400	4,216,500	
財源合計	3,532,800	3,542,400	4,216,500		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
大人侍鎧製作数		領	4	4	
子供侍衣装製作数		着	4	4	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)	対前年30%の減(コロナの影響)	千人	3,647	4,096	2,867

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 湯河原の郷土史を後世に継承していくためにも、町が実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 郷土愛を育み、後世に伝える貴重な場面となっており、効果が得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 資料の散逸を防ぎ、土肥会会員の減少に歯止めをかけ、湯河原の郷土史を伝えていくことにより、郷土愛を醸成していくことができる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 受益の機会は均等と考えている。
令和元年度までの自己評価または改善点	計画的に大人侍の鎧、子供侍の衣装製作を実施。トリプルパワースポットと頼朝の開運街道を結びストーリー性をもたせてPRした。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	土肥会に委託
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。</li> <li>引き続き大人侍の衣装製作を計画。トリプルパワースポットの設置コンセプトと地元豪族、土肥実平と湯河原の地から再興が始まった源頼朝にあやかり、湯河原を開運の地としてPRしていく。</li> </ul>	
令和3年度以降の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>郷土の歴史を後世に伝えるべく、継続して進めていきたい。</li> <li>大河ドラマ「鎌倉殿の13人」を活用したプロモーション等の検討。</li> </ul>	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	引き続き事業を継続していく必要がある。
------	----------	---------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和 年 月 日作成

事業番号	3216	担当課等	観光課							
事務事業名	土肥会記念誌編さん事業(令和2年度から「土肥会創立90周年記念事業」)									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 29 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P35 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	1 機関産業の振興	1 観光	(1) 観光資源の拡充・整備	④ 歴史的・文化的資源の発掘				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	土肥会が2020年度に90周年の節目を迎えるのを踏まえ、記念誌の制作のため、編さん事業を進めていくもの。								
対象	土肥会								
内容	土肥会が2020年度に90周年の節目を迎えるのを踏まえ、記念誌の制作のため、資料収集や基礎資料のデータ化を図る。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費	200,000	100,000	2,130,000		
	人件費	242,767	247,448	235,864		
	常勤職員					
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	242,767	247,448	235,864		
	総事業費	442,767	347,448	2,365,864		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	442,767	347,448	2,365,864		
	財源合計	442,767	347,448	2,365,864		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
資料の収集等・調査			回			
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)		対前年30%の減(コロナの影響)	千人	3,647	4,096	2,867

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 湯河原の郷土史を後世に継承していくためにも、町が実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 資料の散逸を防ぐことができる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 資料の散逸を防ぎ、土肥会会員の減少に歯止めをかけ、湯河原の郷土史を伝えていくことにより、郷土愛を醸成していくことができる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 受益の機会は均等と考えている。
令和元年度までの自己評価または改善点	事業主体である土肥会が積極的に行動しているため、町(事務局)の負担は減っている。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	土肥会に委託
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	資料の散逸を事前に防ぐため、会員をはじめ、後裔者からの情報提供、資料提供を呼び掛けていきたい。	
令和3年度以降の方向性	令和2年度に記念誌発行のため終了。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	完了	令和2年度に記念誌発行のため終了。
------	----	-------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	
------	--



令和2年度事務事業評価シート

令和 年 月 日作成

事業番号	10727	担当課等	観光課							
事務事業名	万葉公園等再整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 27 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P35 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	I 機関産業の振興	1 観光	(2) 観光施設の整備・充実、個性化	(2) 観光施設の活用				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	施設の老朽化対策と、自然と温泉、歴史文化を楽しむ事ができる、住民や宿泊者が散歩する敷地外ガーデンとして整備する。								
対象	町民・観光客								
内容	Park-PFI制度を活用し、万葉公園を「湯河原温泉場の屋外リビング&ガーデン」をコンセプトとし、整備するもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
	事業費	0	0	1,173,530,000	
コスト 人件費	常勤職員	0	0		
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	0	0	0	
	総事業費	0	0	1,173,530,000	
財源内訳	国庫支出金		416,242,000		
	県支出金		42,788,000		
	地方債		568,400,000		
	その他特定財源		130,580,000		
	一般財源	0	0	15,520,000	
	財源合計	0	0	1,173,530,000	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)	対前年30%の減(コロナの影響)	千人	3,647	4,096	2,867

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 公の施設である万葉公園は、町が整備する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 国・県補助金等を活用し、実施することができている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 計画通りに事業進捗が図られていると考える。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 万葉公園利用者の一人ひとりが快適に利用しているだけと考えている。

令和元年度までの自己評価または改善点	
--------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	Park-PFI制度を活用し、事業を実施している。
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	・令和2年度中に再整備事業の完成・終了	
令和3年度以降の方向性	・再整備については完了、リニューアルされた万葉公園の活用や観光客への周知について検討していきたい。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	完了	
------	----	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価		
------	--	--

令和2年度事務事業評価シート

令和 年 月 日作成

事業番号	3311	担当課等	観光課							
事務事業名	観光施設維持管理経費(ハイキングコース、観光施設公衆便所維持管理)									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 27 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P35 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	1 機関産業の振興	1 観光	(2) 観光施設の整備・充実、個性化	(2) 観光施設の活用				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	町内のハイキングコースの維持管理(草刈、指導標の整備等)を行うもの。 湯河原を訪れる観光客等が、公衆便所を利用した際に不快な思いをしないよう、清掃を行うもの。								
対象	ハイカー 施設利用客								
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハイキングコースの修繕、草刈</li> <li>公衆便所の維持管理修繕、清掃委託</li> </ul>								

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
	事業費	15,880,495	15,344,074	17,400,028	
コスト 人件費	常勤職員	2,198,400	2,227,200	2,149,500	
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	2,198,400	2,227,200	2,149,500	
総事業費	18,078,895	17,571,274	19,549,528		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	18,078,895	17,571,274	19,549,528	
財源合計	18,078,895	17,571,274	19,549,528		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
修繕箇所	維持管理に直接つながる	箇所	5	1	
公衆便所の洋式化		箇所	0	0	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)	対前年比3%の増	千人	3,647	4,096	

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 公の施設に設置しているハイキングコースや公衆便所は、町が整備する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 ハイキングコースを整備し、公衆便所を管理することで、利用者のイメージアップを図ることができる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 複数年度での計画を立てることでハイキングコースや公衆便所の整備を充実できる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 ハイカーやトイレ利用者が快適に利用いただけると考えている。
令和元年度までの自己評価または改善点	平成26年度に県補助を含め実施した「鎌倉幕府開運街道」を整備後、ハイキングコースの指導標・案内板の維持管理、修繕を行った。 公衆便所の和式から洋式トイレへのリモデルの検討	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	各ハイキングコースごとに委託
令和2年度の見直し及び改善(実績または予定)	危険個所をチェックして整備を行っていく。 トイレ整備計画等策定に向けた基礎調査の結果をふまえて、どこのトイレを整備するのか、現地を確認して見極めていきたい。	
令和3年度以降の方向性	安全・安心なハイキングコース、快適な公衆便所を使用いただくため、引き続き観光施設維持管理を継続したい。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(拡大)	公衆トイレのリニューアル、新規設置等を検討すること。
------	--------	----------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

今後の維持管理は管理経費により対応する。
----------------------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(拡大)	
------	--------	--

令和2年度事務事業評価シート

令和 年 月 日作成

事業番号	10879	担当課等	観光課							
事務事業名	町民証発行事業									
予算科目コード	会計	01	款	06	項	01	目	02	事業開始年度	平成 29 年度

1 事業概要(令和2年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P35 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	1 魅力と活力にあふれるにぎわいのあるまちづくり	1 機関産業の振興	1 観光	(2) 観光施設の整備・充実、個性化	(2) 観光施設の活用				
関連する個別計画	湯河原町観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	平成29年に発行した町民証が、2020年6月30日までの有効期限となっているため、新たに町民証を作成するもの。								
対象	町民								
内容	湯河原町民及び湯河原町に固定資産を有する方に町民証を発行するもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成30年度(決算)	令和元年度(決算)	令和2年度(見込)		
コスト	事業費			165,330		
	人件費					
	常勤職員	242,767	247,448	235,864		
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	242,767	247,448	235,864		
	総事業費	242,767	247,448	401,194		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	242,767	247,448	401,194		
	財源合計	242,767	247,448	401,194		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
町民証の発行			回			
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成30年度	令和元年度	目標値
観光入込数(日帰り・宿泊計)		対前年比3%の増	千人	3,647	4,096	

3 令和元年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 町内公共施設をはじめ、広域的相互利用提携も実施しており、町が実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 町内公共施設をはじめ、熱海市、真鶴町の公共施設、観光施設の割引で利用することができ、効果が得られていると考える。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 町内公共施設をはじめ、熱海市、真鶴町の公共施設、観光施設の割引で利用することができ、成果が得られていると考える。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 受益の機会は均等と考えている。

令和元年度までの自己評価または改善点	平成29年度の単年事業
--------------------	-------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	町民確認や広域的相互利用提携を実施しており、町が行う必要がある。
令和2年度の見直し及び改善 (実績または予定)	割引対象施設等の調査を実施(追加・削除等)	
令和3年度以降の方向性	経済産業省「指紋認証システム」における「町民証」電子化の検討。	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	完了
------	----

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	
------	--